

平成30年度

一般会計決算に係る主要な施策の成果等報告書

西いぶり広域連合

1. 西いぶり広域連合一般会計予算の執行と成果の概要

(1) 一般会計補正予算の状況 () は、当初予算額及び補正後予算額を示す。

(単位 千円)

区 分	補 正 額	補 正 の 主 な 内 容
当 初 予 算 H30. 2. 20 議決	(2, 285, 737)	
補正予算第1号 H30. 4. 24 専決 (H30. 9. 3 承認)	27, 900 (2, 313, 637)	中間処理施設建物火災復旧経費
補正予算第2号 H30. 9. 3 議決	—	債務負担行為設定(上下水道料金システム改修業務委託)
補正予算第3号 H31. 2. 20 議決	△73, 831 (2, 239, 806)	中間処理施設整備基本計画策定及び生活環境影響調査業務委託、地質調査業務委託、測量業務委託
補正予算第4号 H31. 3. 29 専決 (R 元. 5. 24 承認)	11, 728 (2, 251, 534)	繰越明許費設定(プレミアム付商品券事業対応経費、健康管理システム改修)
補正額合計	△34, 203	

(2) 歳入歳出予算の執行結果

予算現額との比較で、歳入では、翌年度への繰越事業の未収入特定財源を除くと 56, 083 千円の減収となりました。これは、日本容器包装リサイクル協会からの拠出金収入等があったものの、歳出で不用額が生じたことにより関係市町負担金が減少したことなどによるものです。

歳出では、繰越明許費 11, 728 千円を除き、62, 325 千円の不用額が生じました。この主な要因は、予算額に比べ、共同電算に係るコンビニ交付システム導入手法の変更などによる情報処理費の減、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社への暫定的な支援額が減少したことなどによる中間処理施設運営費の減などによるものです。この結果、実質収支額(決算剰余金)は、6, 242 千円となりました。

(3) 債務負担行為

平成 30 年度に債務負担行為を設定した事項について、契約締結等による令和元年度以降の支出額は次のとおりです。

(単位 千円)

事 項	限度額	令和元年度以降 支出額	支出期間	備 考
仮想基盤用機器整備	28, 900	28, 757	令和元年度から 4 年度以内	
上下水道料金システム改修業務委託	2, 000	1, 923	令和元年度	
共同電算用システム等保守業務委託	82, 800	78, 716	令和元年度	
コンビニ交付システム保守業務委託	35, 300	35, 253	令和元年度から 5 年度以内	

中間処理施設整備事業者選定支援業務委託	52,000	43,780	令和元年度から 2年度以内	
中間処理施設整備技術支援業務委託	6,900	4,455	令和元年度から 2年度以内	
指定管理者制度によるリサイクルプラザ及びげんき館ペトトル管理費用	503,200	478,642	令和元年度から 5年度以内	

(4) 繰越事業

① 前年度からの繰越事業

平成 29 年度から繰り越した事業の平成 30 年度の執行状況は、以下のとおりです。

(単位 千円)

区分	款	事業名	繰越額	支出済額	不用額
繰越明許費	情報処理費	住民基本台帳システム改修	15,520	7,668	7,852

② 翌年度への繰越事業

令和元年度に繰り越す事業は、次のとおりです。

(単位 千円)

区分	款	事業名	繰越額	左の財源内訳		
				既収入 特定財源	未収入 特定財源	一般財源
繰越明許費	情報処理費	プレミアム付 商品券事業対 応経費	8,230		分担金及 び負担金 8,230	
繰越明許費	情報処理費	健康管理シス テム改修	3,498		分担金及 び負担金 3,498	

(5) 主要施策の成果概要

① 西胆振地域廃棄物広域処理事業

ごみ処理施設の平成 30 年度のごみ搬入量は、前年度の可燃ごみ 40,687.62 トン、不燃・粗大ごみ 10,776.34 トン、合計 51,463.96 トンから、可燃ごみ 40,567.78 トン、不燃・粗大ごみ 8,453.34 トン、合計 49,021.12 トンとなり、約 2,443 トン、4.7%の減量となりました。これは、台風災害により生じた河川流木の搬入が前年度と比較して減少したことが主な要因と考えられます。

平成 30 年度も、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社である西胆振環境(株)に対し、広域処理施設の安定的な運営の継続を目的として、445,400 千円の暫定的な経営支援を行いました。

② 最終処分場運営事業

最終処分場の平成 30 年度のごみ埋立量は脱塩残渣 1,684.62 トン、処理不適物等

2,476.22 トンの合計 4,160.84 トン。覆土は 503 トンでした。

③ リサイクルプラザ運営事業

平成 30 年度の資源ごみ処理量は、缶類 374.47 トン、びん類 802.46 トン、ペットボトル 406.99 トン、合計 1,583.92 トンで、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルの売払で 43,381 千円、また日本容器包装リサイクル協会からの有償入札拠出金及び再商品化合理化拠出金で 5,228 千円の収入がありました。ペットボトルの処理では、日本容器包装リサイクル協会への引き渡し（指定法人ルート）が 210.52 t、民間事業者への売却（独自ルート）が 196.47 t で、独自ルートでは 3 カ月ごとの入札により事業者を決定しました。

環境学習施設では、廃油石けん作りや和こものづくりなど各種体験学習講座、夏休みの小学生向けの特別講座のほか、不用品のフリーマーケットを行い、施設見学と合わせて 4,493 人の利用がありました。

また、再生家具の展示・販売を 6 月、9 月、1 月の 3 回行い、25 件で 59 千円の売払収入がありました。

④ 新中間処理施設整備事業

新中間処理施設の整備に向け、建設予定地周辺の状況や立地条件等を考慮し、必要な施設規模、ごみ処理方式、公害防止計画等の基本的事項を整理するために、西いぶり広域連合新中間処理施設整備基本計画を策定しました。

また、生活環境影響調査では、当広域連合敷地内の 1 ヶ所で大気質調査（地上気象）を開始しました。

⑤ 余熱利用施設等運営事業

げんき館ペトトルにおいては、午後 1 時から 8 時までの一般利用のほかに、午前中の専用利用では、近隣の小学校のプール授業での活用、指定管理者による健康増進・ダイエットを目的としたアクアエクササイズ教室や水泳教室の開催、キッズパーク（幼児の遊び場）の通年開催など利用拡大に努めました。その結果、利用者数は、温水プール 23,101 人（小学校プール授業 4,840 人を含む）、体育館 15,624 人、多目的室 1,246 人（キッズパーク 752 人を含む）の合計 39,971 人となり、6,851 千円の利用料金収入がありました。

⑥ 共同電算システム運用事業

共同電算システムの運用では、室蘭市及び伊達市において、コンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機から、マイナンバーカードを利用し、住民票の写しや印鑑登録証明書等の各種証明書を交付するためのコンビニ交付システムを整備したほか、障害者総合支援法及び児童福祉法の改正による地域生活を支援する新たなサービス（自立生活援助）の創設等に対応するための福祉システムの改修や、各種システムの改元対応など制度改正等に対応しました。

2 主要な施策の成果

(1) 一般会計

款	目	事業名	決算額	財源	
				特定	地方債
			額	国	道
			支出	金	地
				方	債
情報処理費	情報処理費	西いぶりデータセンター運営管理経費	18,847		
		共同電算システム運用経費	422,663	601	
		西いぶりデータセンター整備事業費	192,440		
ごみ処理費	ごみ処理総務費	最終処分場改修設計等業務委託 災害廃棄物処理計画策定業務委託	16,146 3,089		
	中間処理施設運営費	中間処理施設管理運営経費	1,175,610		
	最終処分場運営費	最終処分場管理運営経費	47,237		
	リサイクルプラザ運営費	リサイクルプラザ管理運営経費	61,669		
	中間処理施設建設費	中間処理施設整備基本計画策定及び生活環境影響調査業務委託	28,413	28,413	
土木費	余熱利用施設等運営費	余熱利用施設等管理運営経費	46,126		

内 訳		事業等実施の成果概要
源	一般財源	
その他		
	18,847	データセンターの維持管理
	422,062	システム保守業務委託 7件 機器保守業務委託 4件 制度改正等対応業務委託 33件 コンビニ交付システム整備業務委託 1件
	192,440	帳票処理機器等更新 外
	16,146 3,089	最終処分場改修設計 西いぶり広域連合災害廃棄物処理計画策定
191,782	983,828	ごみ搬入量 49,021.12t 可燃ごみ 40,567.78t 不燃・粗大ごみ 8,453.34t 周辺環境モニタリング（大気環境） 使用済み乾電池処理量 11,980kg 西胆振環境㈱特例委託費
20,215	27,022	ごみ埋立量 4,160.84t 脱塩残渣 1,684.62t 処理不適物等 2,476.22t 覆土量 503t 残余容量 972.179m ³
48,708	12,961	資源ごみ処理量 1,583.92t 缶類 374.47t びん類 802.46t ペットボトル 406.99t （ペットボトル処理の内訳） 指定法人ルート 210.52 t 独自ルート 196.47 t 環境学習施設利用者数 4,493人 体験学習（廃油石けん作り） 55人 夏休み・冬休み講座等 2,088人 施設見学・フリーマーケット 2,350人 再生家具の展示・販売（年3回） 25件
	0	西いぶり広域連合新中間処理施設整備基本計画策定 大気質調査（地上気象）を開始
213	45,913	げんき館ペトトル利用者 39,971人 温水プール（自主事業受講者含む） 18,261人 体育館（自主事業受講者含む） 15,624人 多目的室・研修室・健康情報室 494人 小学校プール授業 4,840人 キッズパーク 752人